



お盆

ご先祖様の霊をお迎えして、供養をする行事です。この日は亡くなった方々の魂が戻ってくると言われています。家族や親せきと一緒に過ごし、仏壇、お墓の前で手を合わせることは、たくさんの人々とのつながりを感じるこのできる良い機会です。

立春



今年の8月8日は二十四節気のひとつ「立春」です。この日以降の暑さを「残暑」といい、暦の上では秋になります。暑い日が続きますが、風が涼しくなって来たり、雲の高さや形が変わってきたりなど、少しずつ季節の変化を感じることが出来ます。



鼻の日

8月7日は鼻の日です。鼻は呼吸をするときに、ほこりや菌などが入らないようにするフィルターの役割をします。また、においをかいだり発音をするときの手助けをしたりなど、いろいろな働きがあります。鼻の役割を知り、日ごろから健康に気をつけて生活しましょう。



平成 30 年 8 月の園だより



西日本豪雨大災害をうけて今思うこと

7月6日の今まで経験したことのないような豪雨により、熊野町でも沢山の被害がありました。土砂災害にあわれた方、その中を避難され方、知り合いの方を亡くされた方、今なお避難所生活をされている方、毎朝の渋滞の中を通勤されている方なども多く、普通の生活に戻れてない状態です。保護者の方もですが、子どもたちも避難する時に見た光景、経験した恐ろしさは忘れることなく、今でも何回も繰り返しお話してくれる子もいます。保育者は、「そうだったんだね。こわかったね。」など聴いてあげ、早く普段通りの生活に戻してあげたいと思っています。子どもたちの中には、今までおもらしはしてなかったのに、急におもらしを何度もするようになった子、おねしょが始まった子、興奮して落ち着きがなくなったり、すぐに涙が出てしまう子もおり、何かしらストレスを感じ、身体に現れているようです。

先日スクールカウンセラーの臨床心理士の東岸和子さんが保育園に来てくださり、お話をする機会がありました。災害の際のストレスでいろいろな反応が出ることは自然なことなのだそうです。回復のためのポイントとして、安心できる雰囲気を作る。食事、睡眠、運動などの生活リズムを崩さない。災害関係の映像や写真など繰り返し見せない。子どもを一人にしない。話をよく聞いてあげる。災害の時に感じた気持ちを無理に聞き出さない。聴いてほしいときにはゆっくり耳を傾ける。甘えがひどくなったら可能な限り甘えさせてあげる。一緒に遊んであげる。怒らない。叱らない。などがあるそうです。あまり言わない方がよいことは「早く忘れよう」「しっかりしよう」「強くなろう」などだそうです。心配なことがありましたらいつでも相談して下さいと言ってくれました。

その後、黄組さん、白組さんで絵本を2冊読んでいただきました。「こわい目にあったアライグマくん」と「すっすっはっはっ こ・きゅ・う」という本です。みんなで深呼吸をしたり、かたをあげさげ

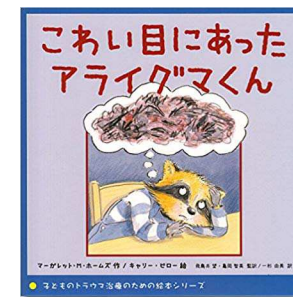
して「すー」「はー」大きく、小さく、すったりはいたりして、声を出して呼吸することで、すっきりした感じがしました。「みんなでリラックスすること、笑いヨガなどやることもいいですよ」と教えていただきました。

保育園でも、夏まつりが中止になり、お泊り保育も延期になり、子どもたちが楽しみにしている行事が今できていないことを心苦しく思っています。でも、子どもたちにとって、「保育園、楽しかった～」と思えるあそびの環境を考え、子どもたちを元気にすることが今一番大切なのではないかと感じています。子どもたちの元気を回復する為には、まずはしっかり身体を動かすことです。今の時期ならではの水あそびでは、クラスごとに体を思う存分使って楽しんでいます。小さいクラスでもお水をすくったり、容器に移したり、身体にかけたり、水をかけることで回るおもちゃを不思議そうに見て楽しんでいる子もいます。幼児クラスではワニさん歩きや、フープくぐり、宝探し、メガホンを使ったお水飛ばしをしたり、顔をつけて泳いでいる子もいるくらい、しっかり水あそびを楽しんでいます。プールに持って行く、舟、いかだ、魚なども制作しています。「これ、うかぶかな?」「ぼくがのれるかな」など、考えては作って、失敗したり、乗れて大喜びしたり。こういった、やってみたいことを考えて実現したり、自分で工夫して挑戦したり、お友だちと協力したり、子どもたちのやりたい気持ちが、あそびにむかうことで、子どもたちは元気になるのではないのでしょうか。お部屋でも、運動会への取り組みが始まっています。みんなで協力してする、組体操、バルーン、お遊戯など友だちと一緒に考え、意見を言い合いながら楽しく、工夫して取り組み、運動会に向かって、子どもたちも職員も心をひとつに、みんなで元氣になれたらと思っています。

暑い夏、大変だった夏をみんなで乗り越えていきましょう。職員一同、わくわくときどきする楽しい保育に向けて取り組んでまいります。

くまの・みらい保育園 園長

絵本の紹介



アライグマくんはある出来事を見てしまったために、家でも学校でも不安でイライラして乱暴になり、生活がうまくいかなくなっていきます。どうすれば良いのか当人も周りの人もわからず困ってしまいます。ショックな出来事を目撃し、二次被害を受けてその影響に苦しむ子どものための絵本です。



気持ちが呼吸に現れたい、呼吸から声が生まれたい、さらに言葉が生まれたい…このような事が改めて実感できる絵本です。一緒にあう～はあ～あると何だか元氣になっけきまあふ。

お知らせ

運動会を町民グラウンドで予定しておりましたが、今回の災害により土砂置き場になっており、使用できなくなりました。そこで、熊野第三小学校のグラウンドをおかりすることになりました。雨天の場合は第三小学校の体育館で行います。

